

# おばま 市議会だより

- 9月定例会の概要……………P2
- 平成 25 年度決算認定……………P4
- 市政を問う！一般質問……………P8



# 9月定例会の概要

平成26年第4回定例会は9月1日から10月6日までの36日間の会期で行われました。

今定例会では、各会計の補正予算案をはじめ、条例その他議案が提出され、慎重に審査しました。

## 条例

◆小浜市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について  
賛成全員で可決

◆小浜市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について  
賛成全員で可決

◆小浜市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の制定について  
賛成全員で可決

◆小浜市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の制定について  
賛成全員で可決

◆小浜市保育所保育の実施に関する条例の廃止について  
賛成全員で可決

◆御食国若狭おばま食文化館の設置および管理に関する条例の一部改正について  
賛成多数で可決

## 陳情

◆地方財政の充実・強化を求める意見書について  
賛成全員で採択

## 人事案件

◆公平委員会委員の選任について  
(霜中 克文氏・西津 (小畑 清美氏・松永) 賛成全員で同意



### 【可決した平成26年度補正予算】

会計名	既決予算額	9月補正額	合計
一般会計	153億2,584万円	3億7,922万円	157億506万円
特別会計	90億3,100万円	1,923万円	90億5,023万円
企業会計	8億7,958万円	674万円	8億8,632万円
計	252億3,642万円	4億519万円	256億4,161万円

## 9月定例会で可決した意見書

### ▼地方財政の充実・強化を求める意見書

【概要】公共サービスの質の確保と地方自治体の安定的な行政運営を実現するため、2015年度の地方財政計画、地方交付税及び一般財源総額の拡大にむけて、政府に対策を求めるもの。

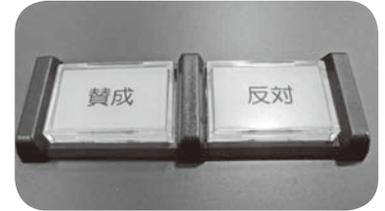
### ▼舞鶴若狭自動車道の4車線化に関する意見書

【概要】防災面での機能強化をはじめ、観光や流通、地域の活性化等総合的な振興を図る観点から、舞鶴西インターチェンジ以東の早期4車線化を強く要望するもの。

# 平成 26 年第 4 回定例会採決結果

## 賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名
議案	平成 26 年度小浜市一般会計補正予算（第 4 号）
	平成 26 年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）
	平成 26 年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）
	平成 26 年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）
	平成 26 年度小浜市簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 号）
	平成 26 年度小浜市下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）
	平成 26 年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）
	平成 26 年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算（第 1 号）
	平成 26 年度小浜市水道事業会計補正予算（第 2 号）
	平成 26 年度小浜市一般会計補正予算（第 5 号）
	小浜市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について
	小浜市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
	小浜市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の制定について
	小浜市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の制定について
	小浜市保育所保育の実施に関する条例の廃止について
	公平委員会委員の選任について（霜中克文氏）
公平委員会委員の選任について（小畑清美氏）	
認定	平成 25 年度小浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成 25 年度小浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成 25 年度小浜市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成 25 年度小浜市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成 25 年度小浜市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成 25 年度小浜市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成 25 年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	平成 25 年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について
陳情	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について
意見書	地方財政の充実・強化を求める意見書
	舞鶴若狭自動車道の 4 車線化に関する意見書



【採決表示ボタン】

## ホームページ を見よう！

小浜市議会のホームページには、採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信（約 2 週間程度で視聴できます）などさまざまな情報が掲載されています。



## 賛否が分かれた議案等

項目	件名	採決結果	藤田	西本	小澤	今井	能登	松崎	池田	下中	三木	垣本	藤田	風呂	富永	清水	池尾	宮崎	山本	賛成	反対	
			靖人	清司	長純	伸治	恵子	圭一郎	英之	雅之	尚	正直	善平	繁昭	芳夫	正信	正彦	治守蔵	益弘			
条例	御食国若狭おぼま食文化館の設置および管理に関する条例の一部改正について	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	15	1
認定	平成 25 年度小浜市一般会計歳入歳出決算の認定についての所管部分	多	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	14	2
	平成 25 年度小浜市水道事業会計決算の認定について	多	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	14	2

全＝賛成全員（可決・採択） 多＝賛成多数（可決・採択） 否＝賛成少数（否決・不採択）  
 ○＝賛成 ×＝反対 欠＝出席せず 除＝除斥（規定により採決に加われない）  
 ※垣本正直議員が議長のため採決には加わっておりません。

# 各委員会質疑・報告

## 予算決算常任委員会 (9月補正)

### ◆公共交通機関活性化推進事業 144万円

【説明】市が小浜線電化に合わせて整備した、東小浜駅のホームの上屋やホームとコンコースの間を結ぶ上屋などが腐食しているため、塗装等の修繕をするもの。ホーム上屋の中央部分はJR、両端は市が管理している。

体開催と直接関係のない施設に多大な費用をかけて修繕する意義は何か。

【答】第3種公認を取っているが公認期間は5年毎の更新であり、来年が更新年となっている。日本陸上競技連盟の担当の検定員に公認施設として事前の審査を受け、指摘があれば改善をして正式に検定を受けることになる。今回は指摘箇所を修繕するものであり、計画修繕とはなりにくい。

公認競技場の意義については、若狭地方で唯一の公認施設であり、市民の体力の増進、競争力の向上に大きな役割を果たしている。市の大会はもとより、県の大会も毎年開催され、利用者の自己記録の公認は誇りであると考えている。

### ◆市営体育施設管理事業 8432万6000円

【問】陸上競技場の改修について、近年も地盤沈下で補修していると思うが、計画はどうなっているのか。また、今回の国

## 総務民生常任委員会

### ◆議案第57号 御食国若狭および管理に関する条例の一部改正について

【問】今までの業務委託と、指定管理者では、濱の湯と濱の四季のメリット、デメリットについて分析をされているのか。

【答】濱の四季のメリットは、質の高いサービスの向上という中で、利用者のニーズに応えた運営ができること。濱の湯については、オープン以来ずっと年間14万人台という変わらない利用客を確保している。それに加えて、自主事業というところで、より住民のニーズに応え、サービスの向上させるような対応ができるのではないかと考えている。

【問】その後、ミュージアム、伝統工房、キッチンスタジオも、指定管理にしていく可能性があるということか。

【答】濱の湯、濱の四季は、来年の4月1日をめどに導入を考えている。ミュージアム部分については、現時点では、直営で引き続き行うので、今後、そういう可能性が出てきたときには、再度検討する。

【確認】指定管理者となっても当初の精神や考え方は引き続き維持されることか。

### ◆議案第58号 小浜市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

【問】小浜市の新制度への取り組み等について、今後、住民や保護者等への周知説明をどのように行っていくのか。

【答】私立保育園の運営については、県が私立保育園対象の研修会を何回

も開催しており、今後の保護者への周知については、まず、保育士への勉強会を徹底し、それを基にして、保護者への十分な周知を図っていきたいと考えている。国の財政支援の施設型給付は、私立幼稚園だけでなく、公立保育園に関しては、これまでと何ら変わることはない。今月発行の広報おぼまで新制度の周知を図っていく。

【問】保育料については、新制度になると算定方法も含めて見直しがかかると思うが、小浜市の保育料は高いため、近隣自治体に負けないようにしないと小浜市に住んでもらえないのではないか。

【答】保育料に関しては、近隣町と比べると高いということは把握している。子育てに対する支援ということとは認識している。小浜市の財政状況もあり、今後庁内で協議させていきたい。

### ◆議案第60号 小浜市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の制定について

【問】新しく設備および運営に関する基準を定める条例だが、現状の小浜市の児童クラブは、これは基準に達しているのか。

【答】これまで国は、ガイドラインを示しており、一人につき専用区画が1・65平方メートルというのは変わらない。面積についても、小浜市が実施している児童クラブの方が広がっている。また、職員配置は、3人配置している。この国の基準よりは、手厚くなっている。

【要望】小浜市の保育は評価されているため、今回の制度改正で今よりも悪くならないように、さらに良くなるようにしていただき、今後の計画策定には、子どもを持つ保護者のニーズを十分反映させて、小浜の保育、子育て支援を充実させてほしい。

# 各振興協議会開催報告

小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会

日程 平成26年7月3日

場所 高島市

国道303号海老坂（えびさか）トンネル工事の進捗状況と昨年の台風18号で被災した一級河川鴨川の決壊箇所現地視察を行い、担当職員から説明を受けました。7月29日には国道303号および国道367号の道路改良など国土交通省へ要望活動を行いました。



海老坂トンネル現地視察

小浜市・おおい町総合振興協議会

日程 平成26年7月25日

場所 小浜市

「舞鶴若狭自動車道全線開通に伴う観光戦略について」と「北陸新幹線若狭ルート」の現状と今後についてが議題とされ、県や市の担当者からの説明を受けて、活発な意見交換が行われました。



小浜市・若狭町総合振興協議会

日程 平成26年8月7日

場所 若狭町

「道の駅若狭おばま」と「三方五湖PA」において現地視察を行い、担当者から説明を受けました。また、「舞鶴若狭自動車道全線開通に伴う誘客促進について」意見交換が行われました。



道の駅若狭おばま現地視察

北陸新幹線若狭ルート早期実現特別委員会要望活動

北陸新幹線若狭ルート早期実現特別委員会は、7月25日に要望活動を行いました。国土交通省副大臣の高木毅衆議院議員に6月定例会で可決した意見書を、また与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームの滝波宏文参議院議員等に要望書を提出し、若狭ルート早期実現のために協力を求めました。



滝波参議院議員に要望

# 各委員会行政視察報告

## 広報委員会行政視察



国土交通省で高木衆議院議員に要望

視察日 平成26年8月5日

視察先 滋賀県甲賀市、三重県鳥羽市

目的 議会だよりの編集体制と紙面構成について先進地に学び、より分かりやすい広報紙の作成を目指すため。

### ◆滋賀県甲賀市

議会だよりの編集を議員主導で実施されており、議会広報の編集体制と見やすい紙面構成について意見交換を行いました。

### ◆三重県鳥羽市

議会のIT化を全国に先駆けて行っておられ、特に広報手段の活用体制について学びました。



滋賀県甲賀市議会視察



三重県鳥羽市議会視察

# 平成 25 年度決算を認定

## 一般会計

歳入 165億3,888万 891円  
歳出 159億4,524万7,171円

今定例会で、平成 25 年度の一般会計をはじめとする各会計の決算を認定する為、予算決算常任委員会に付託しました。さらに慎重に審査する為に、総務民生・産業教育それぞれの分科会に調査依頼し、質疑・討論を経て採決を行いました。審査の結果は全会計とも認定することに決しました。

### 総務民生分科会

▼防災行政無線整備事業  
1億6806万450円

【問】市街地の火災で遠く離れた村部の屋外拡声器が夜中に鳴った。屋外拡声器の運用基準は。

【答】全域の通報に対しては、知りたい、やかましいと賛否両論の意見がある。火災の場合消防団員の招集という内容もあるので最初は戸別受信機で対応し、火災が拡大するなど重大な局面の場合は、市が屋外拡声器で発信するなど消防と調整する。台風や降雨等で避難準備警報・避難警報・避難指示を出す場合は屋外拡声器を使用する。

【問】JAの放送は全市に必要か。

【答】JAにエリアの選択等改善の申し入れをしている。

▼ふるさと自立活性化推進事業  
750万円

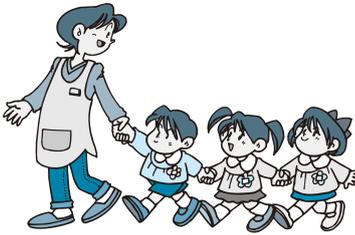
【問】なれずしの特産化は考えているのか。

【答】なれずしの特産化については、旧田鳥小学校を改造してなれ鯖を作る漬け樽置き場、そして冷蔵庫・真空パックの機械を揃えた。その施設を活用して継続的に販売まで考えている。

▼延長保育促進事業  
933万6343円

【問】保育時間と延長保育について。

【答】公立保育園の場合、朝7時半から夕方6時半までの11時間が保育基本時間。そのうち4時半ま



で通常の保育。6時半までは長時間保育で対応、それに伴う保育料はかからない。延長保育は6時半から7時までで、それについては保育料は必要。

▼老人クラブ助成事業補助金  
393万9400円

【問】前年より老人クラブの助成が減っている理由は。

【答】小浜と雲浜の5クラブが減って70クラブとなり、全体の会員数も減っている。



▼ごみ収集委託事業  
1億165万901円

【問】ごみ収集業者が1社から2社になったのは。

【答】1年以上経って範囲が半分となったので時

間帯もある程度早めに回れるようになり、また、慣れてきて取残しも減ってきた。まだ十分でない点もあるので、引き続き業者を指導し市民に迷惑がかからないようにする。



▼地域協同ステップアップ事業  
86万8263円

【問】公民館のコミュニケーションセンター化のための受け皿はどこになるのか。

【答】現在まちづくりの主要メンバーを中心に説明しているが、まちづくり委員会、公民館、区長の3者は外せないと考えている。老人会や婦人会等、各種団体とのかかわり方は従来どおりで、地域づくりをしていただく。

## 産業教育分科会

▼六次化産業推進チャレンジ事業  
886万8070円

【問】事業の総括、経過について問う。

【答】11団体の事業があり、甲ヶ崎の養殖カキを剥き身にしての商品化、宇久の定置網の地魚を使った醤油干しの商品化、志積のワカメを使った新商品の開発、加斗の地元野菜の漬物の商品化等々の取り組みを行っている。



▼交通安全施設整備事業  
1097万7909円

【問】カラー舗装については整備計画があり、それらに準じて実施されているのか。

【答】全体計画があつて実施しているものではなく、通学路の安全対策であるため、要望のあるところから補正等で実施した。今後は学校側とも話をして点検等を行い整備していきたい。



▼学校生活支援員設置事業  
1721万4563円

【問】学校への配置は、どの様になっているのか。

【答】市内小中学校に1人は必ず配置し、2人体制のところは小浜、雲浜、遠敷小学校で、計17名を市費でもって配置している。これとは別に県の対応で3人体制の学校もある。低学年は主に半日で、それ以外は1日の支援を

してもらっている。年々要支援対象者が増加している傾向もあり、保護者からは大変感謝されている。

▼重要遺跡総合調査事業  
306万4620円

【問】現状と、今後の整備計画について。

【答】武田氏館跡の発掘調査報告書は今年3月末に発行した。現在は補助申請手続きを進めており、出来れば来年度には史跡の追加指定を受け、その後専門家を交え3年をめどに保存管理計画を作成。再度整備のための発掘調査を行い、設計として史跡整備となる。整備工事は平成35年頃に着工できればと考えている。

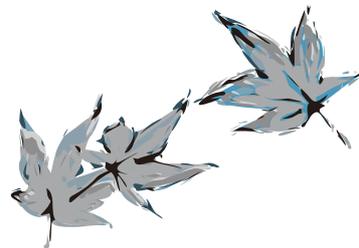
## 【寄附行為の禁止について】

公職選挙法により、議員は選挙区内の人や団体に対しての寄附行為や金品の授受をすることが禁止されています。

禁止されている例として次のようなものがあります。

- 町内会・自治会の集会や旅行など催し物への差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ
- 地域の行事や運動会への差し入れ
- 病気見舞い
- 落成式や開店祝いの花輪、葬式の花輪、供花
- 本人以外が代理で出席する場合の結婚祝いや葬式の香典
- 出産、入学、卒業、就職等の祝い金や祝い物
- お中元やお歳暮
- 年賀状、暑中見舞い等の時候のあいさつ状（答礼のための自筆を除く）

また、政治家に寄附をするよう勧めることや、求めることも禁じられていますので、皆様のご理解をお願いいたします。



## 【決算審査の役割】

決算審査の重要な役割は、この審査が次年度の当初予算にいかんにか反映されるかということです。審査での意見を受けて、これから編成される平成27年度の当初予算にどのように生かされるかが期待されます。

# 市政を問う！一般質問

平成26年第4回（9月）小浜市議会定例会

ページ	氏名	質問項目
8	今井 伸治	1. 災害対策について 2. 舞鶴若狭自動車道開通後の状況について 3. 介護保険制度について
9	清水 正信	1. 安全・安心のまちづくり
9	池田 英之	1. 観光まちづくり戦略について 2. 土砂災害の防止について
9	風呂 繁昭	1. 中、長期の行財政計画 2. 基幹産業、観光と食について
10	下中 雅之	1. 協働のまちづくり、地域拠点のあり方について 2. 協働のまちづくりに対する意識向上について
10	宮崎 治宇蔵	1. 集団的自衛権の行使を容認する閣議決定について 2. 公民館のコミュニティセンター化について 3. 「東寺百合文書」のユネスコ記憶遺産候補について 4. 県原子力防災訓練について
10	能登 恵子	1. 防災関連一般 2. 人口減少社会と公共施設について
11	三木 尚	1. 小浜平野地下水調査の目的について 2. 災害に備えた自主防災組織について
11	松崎 圭一郎	1. 小浜市の観光戦略は？ 2. 拉致問題の見通しは？

【問①】当市の高齢者等の状況は。  
【答】過去5年間で総人口は3・8%の減、高齢者人口は2・8%の増、高齢化率は1・9%の増となっており、人口は減少する一方で高齢者人口・高齢化率は増加傾向にある。

【問②】当市の認定率は。  
【答】第1号被保険者数は9021人、内認定者数は1727人で認定率は19・1%。全国及び県より高い認定率になっている。

【問③】介護保険制度の改正案について。  
【答】今後増える認知症高齢者を、早期発見するための「もの忘れ検診」を実施し、対象者を拡大し早期発見・早期受診につなげる。不足するサービスの充実や家族を支援する介護



今井 伸治  
議員

## 介護保険制度の改正と今後の方策



【問④】要支援事業が市に移行することについて。  
【答】ボランティア、NPO等の地域資源を活用した独自のサービス提供で介護サービスの低下にならないよう努力する。

【問⑤】在宅医療の推進・介護との連携の進め方は。  
【答】今後の医療と介護の両方のニーズを併せ持つ高齢者が増えてくるので、関係者の意識付けや医師会・若狭健康福祉センターとの連携を密にしていく。

チームや支援推進員の設置等、安心して暮らせる仕組みづくりに取り組む。

# 一般質問

【問】地球温暖化が原因とみられる異常気象が頻発し、数十年に一度の集中豪雨、土砂災害、河川の氾濫、竜巻が発生し、住民の生命と財産を脅かしている。行政として危険箇所の災害対策を急がなければならぬ。市民の皆様からも「急傾斜対策」「土石流対策」を急ぐよう数多く要望がある。土砂災害事業の着手には急傾斜地崩壊区域など区域指定が必要であり、指定には全ての関係者の同意が必要と聞くが。

【答】関係者の同意を指す要件としている。

【問】マンション建替法に上る建替えは80%の賛成で可能。多くの人の中には価値観、考え方の異なる人がいる。災害対策事業は市民の



清水 正信  
議員

## 自然災害に強い安全、安心のまちづくり

生命と財産を守る重要な事業。一人の不同意により多くの住民が今後とも危険にさらされる状況が続くことは非常に問題である。被害拡大の背景として宅地開発のあり方が問われる。高度成長期からバブル期にかけて全国の市町において山が削られ水田が埋め立てられた。現在の災害はこうした場所でも多く発生している。少子高齢化、人口減少の問題はまちづくりの上で重要。社会保障費の増加、インフラの老朽化等財政状況の厳しい中、今以上の郊外への開発を抑制し、危険地域の住宅を減らし、既存の都市機能を有効に活用する。持続可能な自然災害に強い安全安心のまちづくりが重要。市の認識を伺う。

【答】市街地の拡散を抑制し将来に渡り持続できる、より安全で安心なまちづくりの取り組みを検討していく。



池田 英之  
議員

## ミラノ博で食のまち小浜を世界へ発信！

若狭塗箸については、ミラノ市内でのテスト販売や現地事業者との交流会等も検討し、広く世界にアピールし市場・販路拡大に繋げる。

【問①】観光まちづくりを推進する上で観光振興計画を策定し、理念・ビジョンを定めるべきと考えられるか見解は。

【答】観光振興施策については総合計画に定めている。食や食文化等の情報発信、市内の回遊性を高める事等により、地域の活性化を目指すとした基本方針としている。

【問②】ミラノ博の展覧は小浜市を国内外へ発信する絶好のチャンスである。「キッズ・キッチン」の将来の可能性や若狭塗箸の新たな商品開発市場開拓に繋げることが重要であると考えられるか見解は。

【答】「キッズ・キッチン」を通し小浜全体の食育のレベルを高め食育文化都市としてのブランド力を一層高める。

【問③】広島での土砂災害を受けて本市の土砂災害警戒区域、特別警戒区域の見直しは。

【答】平成23年に市内全域の指定を完了した。県では広島での災害を受けて山際の住宅団地等の開発が行われた箇所やまさ土地域において荒廃が進んでいる箇所の調査を今年度進めるとしており市としても協力していく。

【問④】危険箇所における砂防ダム、急傾斜施設等のハード対策は十分か。

【答】現在砂防ダムについては5基が県の事業により整備が進められており、急傾斜施設については一方所を施工中。危険箇所が多いことから今後整備が必要箇所は多数あると認識している。



風呂 繁昭  
議員

## 収入増に結びつくような政策を！

「濱の四季」は開館当時のコンセプトの一つとして市民や事業者に向け、地産地消やスローフードという切り口により豊かな食文化を受信し、かつけん引する役割を担っている。そのパイロット的役割について伺う。

【答】オープン以来、一貫して地産地消やスローフードをコンセプトとして営業してきた。市内にも地産地消をすすめる店が5店舗に拡大、普及してきた。和食が世界無形文化遺産に登録され、和食文化の魅力が地域全体に発信していきたい。

【問】厳しい財政状況といわれている中、税収増への施策、既存の企業への元氣政策を伺う。又指定管理者制度や外部委託の推進には適切で健全な対応が望まれ、その上地域振興ふるさと財団の経営革新の促進、よろず支援等、経営上の様々な課題を相談出来る窓口を設け販路開拓マネジメントにも対応出来る様に小浜の企業へ積極支援策を問う。

【答】人口減少への対策や市税確保対策として医療費助成等の子育て関連施策や、地元企業の育成、企業誘致などの経済、雇用対策に積極的に取り組む、交流人口の拡大を図るため、様々な賑わい創出の施策を講じている。

【問】観光と食について



下中 雅之  
議員

【問】現在の公民館を  
コミュニケーション  
化することにより、ど  
のようなことが可能に  
なるのか。

【答】公民館をコミュニ  
ティセンターとして地  
域づくり活動の拠点と  
することにより、社会  
教育法の枠にとらわれ  
ず、例えば、まちづく  
り協議会が地域資源を  
活かしたコミュニティ  
ビジネスに取り組んだ  
り、福祉や防災等に  
関する地域の問題解決  
に向け、それぞれ特色  
ある活動を活発に行い  
やすくなると考えてい  
る。

【問】まちづくり組織  
に対し、協議会形式を  
採用されようとしてい  
る考えを伺う。

【答】地区単位のまち  
づくりを推進し、地域  
をよりよいものにして

## 魅力あるまちづくりを進めるためには！

いくため、自分たちの  
周りでどのような課題  
があるかを地域住民の  
視点で検討し、地域が  
一体となって課題解決  
に向けて取り組む組織  
が地区まちづくり協議  
会であり、このまちづ  
くり協議会に公民館を  
拠点として地域づくり  
を行っていただきたい  
と考える。

【問】市民および職員  
も一住民として、まち  
づくり活動参加に対す  
る市長の考えを伺う。

【答】特色を活かした  
魅力あるまちづくりを  
進めていくためには、  
地域力をさらに高め、  
多くの住民が結集する  
ことが重要であり、住  
民の皆様に対してまち  
づくりへの参画を促す  
だけでなく、職員には、  
自らも地域社会の一員  
であることを認識し、  
自分の住んでいる地域  
をよりよくしていくた  
めに、積極的に住民と  
連携して、まちづくり  
に取り組んでもらいた  
いと考えている。



宮崎治宇蔵  
議員

【問①】自衛隊の危険  
な性格について問う。

閣議決定は、「武力行  
使はしない」「戦闘地  
域に行かない」という  
現在の海外派兵法の歯  
止めを外し、自衛隊を  
戦闘地域にまで派兵し  
て、米軍などへの後方  
支援を打ち出した。後  
方支援であれ、ひとた  
び戦闘地域に入れば敵  
と見なされ、攻撃され  
て応戦すればたちまち  
戦場になる。アメリカ  
の戦争のために日本の  
若者が血を流す、そん  
な国にしてはならな  
い。中学生の自衛隊へ  
の職場体験を中止すべ  
きだと考えるが、どう  
か。

【答】現時点では、学  
校が自ら止めるのでな  
ければ、教育委員会か  
ら「職場体験学習の候  
補から外すように」と

## 集団的自衛権の行使容認に反対

いう指導をするつもり  
はない。

【問②】公民館のコミュ  
ニティセンター化につ  
いて

【答】平成27年度から  
のモデル地区実施に当  
たっては、まちづくり  
協議会は規則、包括的  
な交付金は要綱で対応  
したい。

【問③】「東寺百合文書」  
のユネスコ記憶遺産候  
補について。

【答】「東寺百合文書」  
がユネスコ記憶遺産に  
登録されれば、本市の  
歴史文化がより深く解  
明され、世界的な歴史  
資料にゆかりのある地  
域として期待される。

【問④】県原子力防災  
訓練について（松永小  
学校、上中庁舎への訓  
練の視察を踏まえ質問  
しました。）

【答】避難中継所から  
先には、基準以上の汚  
染が確認された車両等  
を排除することなく通  
過させてはならない。



能登 恵子  
議員

【問①】「防災関連」  
①災害時市民への周知  
は。

【答】チャンネルOと  
の「災害緊急放送に関  
する相互協定」により、  
庁舎内から河川の状態  
映像を放映、避難所設  
置状況を案内する。月  
一の訓練も。

②西街道トンネル内に  
ラジオ放送が入るよう  
に。原子力災害時の避  
難道には必須ではない  
のか。

【答】西街道トンネ  
ルは市道トンネルで  
あり、1000mで  
1100台の交通量が  
無いことが理由で難し  
いが、今後国や県と意  
見交換していく。

③学校での防災教育  
は。原子力災害に関す  
るアンケートから、学  
校の役割について。

【③答】学校防災マニユ

## 公共施設改廃を市民福祉の視点で！

アルに沿った、それぞ  
れ学校の実情に合った  
訓練をして質を高めて  
いる。学校は、大切な  
児童の安全確保を第一  
に、保護者に渡す努力  
を最大限する。

【問②】H26年4月に  
「公共施設総合管理計  
画」を策定するよう、  
国交省より通達があ  
り。少子高齢化が進む  
中、老朽化した公共施  
設（道路・橋梁・上下  
水道、河川管理・学  
校・市の管理する建物  
他）は人材も含むと  
思う）の維持管理費や  
更新費を推計していな  
い自治体は、88%もあ  
り、必要経費をまった  
く把握していない自治  
体は68%。小浜市の計  
画を立てるにあたって  
その視点を伺う。

【答】市の公共施設は、  
昭和40～50年代に整備  
されたものが多くこれ  
から大規模な改修や改  
築が必要となるが、質  
の高い市民サービスを  
最小の経費で提供でき  
るような検討が必要。

# 一般質問

【問】目的に合った調査とするために開催すると市が言明していた検討委員会が未開催のまま二年目の調査に

【答】南川水系は既存の資料から浅いところに岩盤があり、帯水層についても比較的単純であるといえる。それ故、湯岡・谷田部両水源井戸の利用可能最大水量の調査は行わず、水質汚染・汚濁の検討も行わない。

【問】小浜平野地下水調査について、大供給源の南川でなく北川水系に偏った調査になっていないか。水道ビジョンで掲げている新浄水場建設を再検討できるのか。また、地下水の区域と水量の調査が当初の目的であるが、市の活性化策として活用可能か。



三木 尚 議員

入っている。市民が有効に利用できる活用策を想定した調査が必要では。  
【答】調査が終了する27年度後半になってから市民参加の委員会を組織する。

## 地下水調査を市の活性化に利用すべき!!

【意見】単独財源六千万円を使う調査は小浜市にとって大きな事業である。長年、市が足りない、汚染の恐れがあるとしていた肝心の水源の調査に重点を置いていないことを指摘して検討委員会の即時開催と市民参加の委員会の早期開催を強く求める。

【問】各地で頻発する自然災害に関連し、地域防災組織率は。  
【答】当市では50%の組織率。

【意見】①未成立地域内で市職員が積極的に関与すべき②防災組織はあて職ではなく、地域の自然条件に詳しい人で組織し、地域の知恵を集約・蓄積できる組織とすべき。

【問①】小浜市が抱く観光コンセプトとは？  
【答】舞鶴若狭自動車道の全線開通により、当市へのアクセス環境が飛躍的に向上した事で東海・中京・北陸エリアへの観光PRが重要であると考えており、特に冬用タイヤが普及している北陸エリアからの冬場の誘客を期待している。また、ミラノ万博への出展、福井国体の開催等、高速道路の全通が活かせる行事が続くことから、観光おもてなし基盤づくりを前向きに進めて行きたい。

【問②】舞鶴若狭自動車の全線開通が裏目となって、当市は通過点となりはしないか？  
【答】石川方面や天橋

【問③】商店街の活性化が、地域発展の基本と考えるが、起死回生への方策は？  
【答】全国的に商店街の空洞化が進んでいるが、当市ではアーケードのイルミネーションのLED化等により、商店街の機能と魅力の向上を図っているとこ



松崎圭一郎 議員

立方面を目的地とする観光バス等には通過されてしまう可能性も考えられるが、当市に立ち寄って頂ける様なプランを用意し、全通効果を活かせる方策を考えて行きたい。

## 地域再生のカンフルは商店街の活性化

【問】全国的に商店街の空洞化が進んでいるが、当市ではアーケードのイルミネーションのLED化等により、商店街の機能と魅力の向上を図っているとこ

【答】全国的に商店街の空洞化が進んでいるが、当市ではアーケードのイルミネーションのLED化等により、商店街の機能と魅力の向上を図っているとこ

【答】全国的に商店街の空洞化が進んでいるが、当市ではアーケードのイルミネーションのLED化等により、商店街の機能と魅力の向上を図っているとこ

## 議会を傍聴しませんか？

議会を傍聴する手続きは、5階の議会事務局で住所と氏名を書くだけです。

## — 12月定例会の予定 —

- 11月28日(金) 本会議
- 12月11日(木) 一般質問
- 12月12日(金) 一般質問
- 12月19日(金) 本会議

## 今月の表紙

宮川小学校

画像提供：宮川小学校

夏はひまわり、秋はコスモスが咲き誇る「花の里」としても知られる宮川地区。宮川小学校運動会が9月7日に開かれ、子どもたちの明るく元気な声援が響きました。



# 内外海小学校 児童のガンバリ!

内外海小学校は、今、「ふるさとに誇りを持つ教育」に全校で取り組んでいます。去年は、若狭青年会議所の皆さんと協力して、ふるさと若狭の誇りや宝物をたくさん歌詞として入れた「ワカサノタカラ」という曲作りに参加しました。そして今年、内外海小学校は、勝山市の子どもたちと、それぞれの宝物を交流し合う活動をしています。

7月22日、舞鶴若狭自動車道が全線開通した翌々日、勝山市内の子どもたち21人が小浜市に来てくれました。ブルーパーク阿納での鯛釣りや魚裁き、シーカヤックや海水浴、蘇洞門遊覧、くずまんじゅうや若狭塗り箸作りなどなど沢山の「ワカサノタカラ」を内外海小学校の6年生と一緒に体験しました。

小浜には海、勝山には山の自然があります。今度は、冬に内外海小学校の子どもたちが勝山市を訪れてスキー体験をしたり、恐竜博物館を見学したり、さまざまな交流をする予定です。



地区外の方でも参加OK

## 議会報告会開催のお知らせ 会場は雲浜・内外海・宮川!

- と き 11月14日(金) 19時～21時
- と ころ 雲浜公民館(交流ターミナルセンター)、内外海公民館(久須夜交流センター)、宮川公民館
- 内 容 ①9月定例会の報告 ②人口減少問題について ③意見交換



### 編集後記

光陰矢の如しとはよく言ったもので、広報委員として本紙の編集に携わらせて頂いてから、早7年半余経ちました。この間、とかく『おばま広報』と比較されがちの馴染み難い『議会だより』を、6人の各広報委員が、研鑽を積みながら一丸となって、本紙が親しみを持って迎えられるよう鋭意努力して参りました。特に、平成25年度の135号からは、従来の8ページを12ページに拡充し、分かり難かった一般質問の報告内容の充実を図りました。また、今年度の予算で以前から『おばま広報』との比較において課題となっていました表紙と裏表紙のフルカラー化をきっかけとして、今年度のテーマを、統合の対象となる4つの小学校に絞って、既刊139号には遠敷小学校、続く140号には松永小学校、今号には宮川小学校、次号には国富小学校と、それぞれの小学校の写真を表紙に掲載する事を企画致しました。また、この企画が人生の気づきを得た学び舎に対する皆様のこれからの懐かしい記憶の1ページに留まる事が出来ればとの思いを描きながら、編集後記と致します。

(広報委員 松崎)